

(一社)日本地質学会 2009 年度第 4 回執行理事会議事録 兼

(任)日本地質学会 2009 年度第 4 回理事会議事録

期 日：2009 年 9 月 3 日（木）13:15～13:45

場 所：岡山市コンベンションセンター 405 号室

出席者：宮下会長，高木副会長，佃副会長，渡部常務理事 藤本副常務理事 井龍 上砂
小嶋 齋藤 藤林 向山 矢島各理事，保柳議長，小山内副議長 橋辺（事務局）

欠席者：石渡 岩森 倉本 坂口 久田

*成立員数（9/17）に対し，出席者 12 名で，執行理事会は成立.

*前回議事録の追承認

報告事項

- ・特許庁より，2009 年 8 月 27 日付で特許法第 30 条第 1 項に基づく学術団体の指定を受けた。
来月には「特許法第 30 条指定の学術団体」として特許庁の HP にも掲載される。
ただし，現状の雑誌や演旨は任意団体の出版なので任意団体として申請，今後変更があった場合には届け出が必要.

審議事項

1. 地学オリンピック日本開催について(評議員会・理事会資料参照)

NP0 法人地学オリンピック日本委員会から，2012 年に開催受入予定の国際地学オリンピック日本開催に関し，地質学会の全面的支援要請を受けたことについて，同委員会委員長でもある久田理事が欠席されたので，渡部常務理事が概要の説明をし，検討した。時間の制約もあり，久田理事から詳細な説明を受けることも含めて，4 日以降に再度検討することとした。

*その後の検討結果：

NP0 地学オリンピック日本委員会から，2012 年の国際地学オリンピック大会の日本開催に向けた協力要請があり，執行理事会で状況を把握しながら検討すると 10 月 3 日社団法人理事会に報告したところ。その後当委員会久田理事から詳細の説明を受け，執行理事会としては国際地学オリンピックは日本における地学の発展にとっても非常に有効な事業であり，社団法人日本地質学会の主要な公益事業として引き続き推進を図る事，2011 年度学会事業計画を策定する際に本学会が主体的に日本での国際地学オリンピック大会の開催を行う事を前向きに検討する事，さらに日本開催に当たって必要な他学会・機関との調整は，連合等を通じて進める事を検討することとした。

2. 「一家に 1 枚」ポスターの企画募集について

清川会員らの企画，提案による年代表を応募する可能性については，締め切りまでに同企画

の内容の詳細を検討する時間がないこと（9月15日締切）、学会および日本としての第四紀問題の方針がまだ明確にできない段階であることなどから、今回の応募は見合わせることにした。なお、同企画については、当初予定のリーフレットの企画として進めるということで提案者らに伝えることとした。

3. IYPE 日本より協賛金の依頼

昨年度の協賛金（5口25万円）と同額とすることを承認した。

4. 任意団体評議員会・法人理事会審議事項の確認

保柳議長、小山内副議長とともに、議事の確認、進行・時間配分等について打ち合わせた。

5. 利益相反規則案について

理事会において基本的な承認を得ることとし、理事会での意見をもとに最終的には法務委員会でもとめあげることとした。

6. その他

1) 地質災害への対応について

藤本地質災害委員長がまとめた現状と今後の対応のあり方をもとに、理事会で意見聴取及び意見交換をする。

2) 第四紀年代区分については、学術会議と INQA の共同でシンポジウムを開催する予定であることが佝理事より報告された。

以上

この議事録の正確を期するため、次の通り署名する。

2009年10月3日

一般社団法人日本地質学会

会長（代表理事） 宮下純夫

署名人 理事